

## [満量処方] 麻黄湯エキス顆粒A

**[満量処方] 麻黄湯エキス顆粒A**は、漢方の古典「傷寒論」記載の漢方処方である「麻黄湯」から抽出したエキスを満量\*配合した顆粒剤です。

\*満量処方とは：漢方処方より得られたエキスを全量配合していることを意味します。

### このような方に

- 風邪のひきはじめて寒気や発熱がある方
- せきがでて体の節々の痛い感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり
- 眠くなる成分は入っておりません

### ⚠ 使用上の注意

#### ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

#### 1. 次の人は服用しないでください

- (1) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (2) 生後1歳未満の乳児。

#### 2. 短期間の服用にとどめ、連用しないでください



#### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 胃腸の弱い人。
- (4) 発汗傾向の著しい人。
- (5) 高齢者。
- (6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (7) 次の症状のある人。  
むくみ、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

#### 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心、食欲不振、胃部不快感
そ の 他	発汗過多、全身脱力感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこぼれる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

(2) 5~6回服用しても症状がよくならない場合

## 【効能・効果】

体力充実して、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、せきが出て身体のふしびしが痛く汗が出ていないものの次の諸症：感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり

## 【用法・用量】

食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。  
食間とは…食後2～3時間を指します。

年 齢	1 回 量	1日服用回数
大人(15歳以上)	1 包	3 回
15歳未満 7 歳以上	2 / 3 包	
7 歳未満 4 歳以上	1 / 2 包	
4 歳未満 2 歳以上	1 / 3 包	
2 歳未満	1 / 4 包	

## ＜用法・用量に関連する注意＞

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 2歳未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

## 【成分・分量】

本品3包(5.1g)中、下記の生薬より抽出した麻黄湯エキス1.92gを含有します。  
日局マオウ……………5.0g                      日局キョウニン……………5.0g  
日局ケイヒ……………4.0g                      日局カンゾウ……………1.5g

添加物として乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、D-マンニトールを含みます。

## ＜成分に関連する注意＞

本剤は天然物(生薬)のエキスを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (5) 1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。



本品についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

### 御所薬舗株式会社 お客様相談室

住 所：〒639-2200 奈良県御所市1207番地

電 話：0745(62)3388

受付時間：午前9:00から午後5:00まで(土・日・祝日を除く)

製造販売元：御所薬舗株式会社  
奈良県御所市1207番地